

広報
くもと

2014
12
No.116



特集 **木曜島を訪ねる**

串本出身者も眠るオーストラリア木曜島を
墓参団一行が訪問しました。



上地 ^{えみり} 絵美里 ちゃん (4ヶ月)

「☆ New born ☆
我が家のお姫様♡
スクスク大きくなってね！」

(母 有美さん)

あなたも広報くしもとに

お子さんの写真を掲載してみませんか？

皆さんのかわいくて元気いっぱいなお子さんの

写真をお待ちしています。

串本町役場企画課

木曜島を想う。

墓参団、木曜島に渡航

串本町と縁のある 木曜島を墓参団が訪問

日本から遠く離れた地。オーストラリア北部のトレス海峡に浮かぶ木曜島には日本人墓地があります。

明治から昭和初期にかけて、多くの日本人の若者が夢を抱き、この地に渡りました。彼らは、当時世界一危険な職業といわれた潜水での白蠟採掘に従事し、中には潜水病や遭難などで故郷から遠く離れた地で命を落とす方もおられました。

10月21日から23日にかけて、串本町出身者も多く眠る木曜島を墓参団が訪問。日本人墓地での慰霊式典や地元の方々の交流が行われました。

December.2014

12

No.116

Contents

◎もくじ

- P 3 … 特集 木曜島を訪ねる
- P 10 … いつか起こる災害に備えて
- P 12 … まちのわだい
- P 15 … くしもと町立病院コーナー
- P 16 … 児童扶養手当について
- P 17 … ジェネリック医薬品/工業統計について
- P 18 … 保健センターだより/りぼん
- P 20 … よろこびかなしみ/年末年始の業務
- P 21 … お知らせ&行事

串本町の人口と世帯

○人 口… 17,765人 【男性… 8,312人・女性… 9,453人】

○世帯数… 8,950世帯

【平成26年10月31日現在】

多くの紀南地方出身者が渡航した島

木曜島について学ぶ

串本町から直線距離にして、約5000kmも離れたオーストラリア北部にある小さな島。戦前、日本人の若者らが夢を追い渡航し、生活した木曜島についてまとめます。



空撮した木曜島。上空から見ると島の小ささがよくわかります。

木曜島の概要

オーストラリア大陸の最北部に位置するヨーク岬。その岬とニューギニア島の間に広がるトレス海峡に浮かぶ木曜島は、面積約3.5km²、人口3,000人ほどの島です。串本町紀伊大島の面積が約9.9km²であることから、木曜島は紀伊大島の半分にも満たない小さな島であることがわかります。島自体は小さいですが、周辺諸島の行政や経済の中心となっており、主な産業は漁業と観光です。気候は温暖で、年間の平均気温が約27度となっています。

木曜島は地理的に国境地域にあり、オーストラリアの国防上、非常に重要な土地でもありました。そのため、19世紀の終わり頃には、木曜島の西端に位置するグリーン・ヒルという丘に要塞も築かれました。現在は史跡として公開されています。

また、木曜島の周辺海域は高級ホテルの素材となる白蝶貝の生息地となっており、これを採取するダイバーたちが明治時代より木曜島を拠点とするようになりました。明治から昭和初期にかけて日本人ダイバーも多数居住しており、一時は木曜島に住む日本人は1,000人を越え、全人口の60%を占めていました。



世界一危険な職業

白蝶貝の採取で使用された潜水服は、非常に重く活動しにくいもの。総重量が50kg以上となるものもあった。で、それを身につけ、人によっては、水深40m〜50mまで潜ることもありました。ダイバーは船の上にいるテンドー（命綱を持ちダイバーを観察する人）と命綱を通じて連絡を取り合いながら作業を行いました。海中では命綱と空気管だけを頼りに作業が行われ、強靱な体力と精神力が必要とされました。当時、世界で最も過酷で危険な職業と言われ、重度の潜水病、荒天による遭難などで多くの尊い命が犠牲となりました。

木曜島と串本町の関係

明治以降、木曜島を含むトレス海峡地域で白蝶貝の採取に従事した日本人は約7,000人。そのなかで和歌山県出身者は8割を占めたとされています。

多くの日本人が白蝶貝採取において活躍していましたが、明治34年にイギリス連邦政府が移民制限法（オーストラリアへの移住を規制する法律）を設けたため、船を所有するために帰化しなければならなくなりました。また、病気などの理由がなければ陸に上がることも出来ず、海上での生活を強いられるなど、日本人渡航者たちは大きな影響を受けることとなりました。

このような過酷な条件の中、木曜

①ダイバーの命を預かるテンドー。命綱をしっかりと掴む。②採取した白蝶貝を洗う。③潜水服を着る日本人ダイバー。



木曜島の日本人墓地にある串本町出身者の各地区ごとの墓石数
(豪州渡民研究者の久原脩司氏調べ)

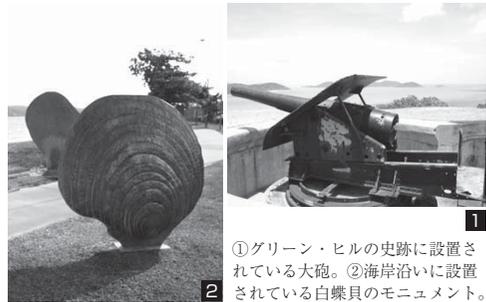
地区名	墓石数
串本	17
出雲	4
潮岬	61
雷二橋村（串本北部）	2
大島	7
田並	19
有田	1
和深	4
姫	4
伊串	1
西向	4
古座	3
合計	127

島では潜水病などの理由により、約700人の日本人が命を落とされました。このうち、162名が串本町の出身者であり、127基の墓が日本人墓地にあることが確認されています。

串本町から木曜島には墓参団が定期的に訪問しており平成5年7月5日〜10日、平成19年10月6日〜10日に次いで、今回が3回目となります。平成23年12月には、トレス市のナバウ・ペドロ・ステイブン市長らが当町を訪問され、過去にあった絆を縁として若い世代に受け継ぎ、新たな友好を築いていく目的でトレス市との友好都市宣言の合意書調印式も執り行われました。



平成23年12月7日に行われた友好都市宣言合意書調印式でこれからの友好を願う握手する田嶋町長とステイブン市長。



①グリーン・ヒルの史跡に設置されている大砲。②海岸沿いに設置されている白蝶貝のモニュメント。

日本から遠く離れた地で眠る先祖らの御霊を弔う

墓参団、木曜島を訪問

串本町出身者も眠る木曜島を10月21日から23日にかけて、田嶋町長、結城副議長、一般参加者ら12名の墓参団が訪問。日本人墓地にて執り行われた慰霊式典に出席しました。



日本人墓地の慰霊塔の前に参列し、般若心経を唱える墓参団一行。式典後には、全員で「ふるさと」を合唱し、遠い地で眠る故人たちを偲びました。

4

5

6

④読経するウィルソン哲雄僧侶。⑤弔辞を読み上げる田嶋町長。⑥植樹の様子。左から坂井敏生さん、ステイブン市長、田嶋町長。



1



2

①日本人墓地の様子。草なども刈られており、きれいに保たれていました。②日本人墓地の中心に建立されている慰霊塔。③墓石に造花を供える参加者。

串本町から木曜島へ

10月20日、串本町を出発した墓参団の一行は、関西国際空港より、オーストラリア行き飛行機に搭乗。機内で一泊し、翌朝、オーストラリア北部最大の都市であるケアンズに到着しました。

ケアンズで国内線に乗り継ぎ、木曜島の隣にあるホーン島へ移動。ホーン島からは木曜島が目視でき、フェリーにて木曜島へ。木曜島に到着したのは、日本を出発して約20時間後で、総移動距離は約7,000kmにもなりました。

先人たちへ敬意を示す

木曜島に到着したのは、21日の午前。同日、午後には、日本人墓地を訪問し、墓参団の方々がそれぞれゆかりのあるお墓を確認しました。墓地は島の北側に位置しており、墓地の中には、昭和54年に日本人来島100年を記念し建立された慰霊塔があります。串本や潮岬、大島といった当時の地名が記載されている墓石が多数あり、当町出身者が木曜島にいたことを確認することができます。翌22日には、慰霊塔前にて慰霊式典が執り行われ、ステイブン市長

をはじめ、トレス市議の方々、現地の日系人や市の職員らも参列されました。

はじめに、元トレス市議で日本人墓地の管理をしていただいでいるイサオ・シバサキ氏が「本日、この場所にいることを誇りに思います。白蝶貝採取に従事し、厳しい環境に置かれても、木曜島の経済発展のために尽力された日本人がこの地に眠っていることを忘れることなくこれからも過ごしていきます。」と挨拶。

式典では、出席者全員による黙祷の後、オーストラリア在住のウィルソン哲雄僧侶の読経が行われました。そして、田嶋町長が「この日本人墓地は多くの方々のご尽力により維持・管理がなされてきました。この機会に改めて関係者の皆さまに感謝

を申し上げます。遠い異国でそれぞれの思いや決意を胸に人生を全うされた先人たちの足跡を思うと、万感胸に迫るものがあります。今後も先人の功績を末永く後世に伝えていくとともに、先人たちの貴重な生涯の上に構築された串本町とトレス市の友好関係をさらに発展させていくことをここに誓います。最後にこの地に眠る全ての御霊のご冥福をお祈り申し上げます。」と弔辞を読み上げました。

ステイブン市長も「この場所での慰霊式典を行い出席することは、非常に感慨深いものがあり、皆さんの大切な方々を守っていく責任を感じています。串本町とこれからもより良い関係を続けられるように努力していきたいと思えます。出席いただいた皆さんに心から感謝いたします。」と述べられました。

式典後には、今回の墓参団訪問を記念して、慰霊塔の裏側に植樹が行われ、田嶋町長、坂井敏生遺族会会長、ステイブン市長が協力して、ノボタンの木を植えました。その後、前日に引き続き、皆それぞれに自分の身内や知人、同郷の方のお墓に赴き、練香や造花を供えて故人の御霊を弔いました。

先人たちの功績が生み出したつながり 深まる友好関係

遠く日本からきた墓参団を心から歓迎してくれた木曜島の方々。今回の訪問は串本町とトレス市の友好関係をさらに深めるものとなりました。

いつまでもこの友好を

「本当に歓迎してくれていることが伝わってきました」。今回、墓参に参加した方々が口を揃えて答えてくれました。

木曜島に到着した10月21日、市役所を訪問した田嶋町長、結城副議長らをステイブーン市長をはじめ、副市長、市議の方々が出迎えてくれました。

「ようこそトレス市木曜島へ。心から歓迎します。」と笑顔で挨拶を述べた市長。町長も「今回の訪問を一つのきっかけとしてさらに友好関係を深めていきたいと思っています。」と感謝の言葉を述べました。



笑顔で迎えられた田嶋町長と結城副議長。市長から、木曜島訪問を記念して、白樂員が入ったプレートが手渡されました。

その日の夜に開かれた歓迎会では、トレス市の伝統舞踊を鑑賞したりするなど楽しい時間を過ごしました。また、日本墓地を管理していただいてるイサオ・シバサキ氏へ町長から感謝状が贈呈されました。



①迫力ある伝統舞踊を披露してくれた木曜島のダンサー。②ダイバーヘルメットの置物を頂きました。③日本のお土産が一人ひとりに配られました。④町長から感謝状を贈られたイサオ・シバサキ氏。

22日、慰霊式典の終了後、墓参団一行は、タガイカレッジ学校、要塞の史跡があるグリーン・ヒルを訪問し、島の歴史などを学びました。その後、隣接する金曜島に移動。金曜島には真珠養殖場を営む高見一吉さんが居住されており、そこで昼食会が開かれました。高見さんも木曜島の日本人墓地の管理をしていただいていることから、町長から感謝状の贈呈が行われました。残念ながら高見さんは不在でしたが、町長が電話にて感謝を伝えました。

夜には懇親会を挙行。トレス市の

職員が手作りした料理が参加者にもるまわれ、前日同様、お互いの親睦を深めました。

23日、現地の方々から見送られながら、ケアンズに向け木曜島を出発。その日の晩にも、木曜島からおよそ800kmも離れたケアンズにまでステイブーン市長、トレス市の職員が駆けつけてくださり、夕食会を開いてくださいました。

翌24日、ケアンズ空港から日本に向け出発。この時もステイブーン市長、トレス市の職員が空港まで見送りに来てくださり、別れを惜しみ墓参団と固く握手を交わしました。



懇親会で串本節を現地の方と一緒に踊りました。



⑤・⑥笑顔で迎えてくれたタガイカレッジの生徒。折り紙を一緒に折るなどして、交流しました。



⑥

⑦・⑧懇親会ではゲームや日本の歌を披露するなど交流を深めました。⑨見送りに来てくれた方々と記念撮影。



⑦

⑧



⑨

Interview

～木曜島を振り返って～



瀬良雅代さん

墓参ができて良かった。そして、多くの方に出会うことができ、行く先々で歓迎のあたたかい気持ちが伝わってきました。今回の木曜島墓参に参加して本当に良かったです。



久原芳法さん

木曜島の方が墓地を管理し、清掃等もしていたに感謝。我が先人たちが苦労して来た場所を訪ねてきたことは感慨深いものがあります。



木原美津子さん

長年思っていた木曜島を訪ねるといふ念願が叶いました。おもてなしが本当に素晴らしかった。木曜島で仕事をしている知人がいるので、今回の訪問を報告します。



堀口潑さん

歓迎が素晴らしかった。これだけ歓迎してくれるのは先人たちが築いた友好関係のおかげだと思います。お墓も大事に守ってくれていることは本当にありがたく思います。



田島秀作さん

祖先がどのような場所で働いていたかを確認でき満足しています。現地にきて初めてわかることもありました。歓迎してくれていることが本当によく伝わってきました。



潮崎啓子さん

お墓もきれいにできていて先祖を大事にしてくれていることがわかり本当に感謝しています。歓迎も素晴らしく、今後もこの友好を継続していきたいと思っています。



戸瀬憲人さん

木曜島に多くの日本人のお墓があることに驚きました。曾祖父が生活していた地を訪れることができて良かったです。今後も友好関係を継続して交流を深めていきたいです。



坂井敏生さん

先祖が眠っている地を訪れお墓に参ることができて良かったです。お墓が以前来た時よりきれいになっていることもわかり、嬉しく思います。木曜島の方々に感謝します。



8

7

5
6
7
8
⑤崩れた家屋の前に救出手順を打ち合わせする隊員ら。⑥・⑦負傷者のトリアージを行うDMAT隊員。⑧オスプレイから救援物資を運ぶ潮岬の住民。



重傷負傷者を担架に乗せオスプレイまで搬送。

(DMAT)、薬剤師が搭乗しており、降機すると負傷者に扮した訓練参加者のところに赴き、対象者の優先度を決定して選別するトリアージを行いました。

1号機の離陸後、水やパンなどの救援物資が積まれた2号機が到着。潮岬の住民150人がオスプレイから物資をリレー形式で運ぶ訓練を行いました。その後DMATがトリアージして優先度が高いと判断された重傷負傷者役をオスプレイに搬送。DMATも搭乗し、潮岬沖に停泊していた護衛艦「いせ」に向け離陸し、訓練終了となりました。

11月5日の津波防災の日には、姫地区において、津波避難訓練が実施されました。

この訓練は、列車走行中に巨大地震が発生したという想定で行われ、串本古座高校古座校舎の生徒や古座小学校の児童、中湊地区・姫地区の住民、そして、JR職員ら約280人が参加しました。

参加者は、古座駅から訓練用に運行した臨時列車に乗車。紀伊姫駅付近の地蔵踏切手前で地震が発生したとのアナウンスが流れ、列車が緊急停止されました。乗降口が開かれ、参加者は飛び降りたりはしごを使用したりして列車から降り、姫地区の避難場所に指定されている海抜約24mの場所まで、走って避難しました。



津波による影響がない高台まで走って移動。

降り、姫地区の避難場所に指定されている海抜約24mの場所まで、走って避難しました。

訓練に参加した古座小学校の児童は「もし、列車に乗っているとときに地震や津波が発生したら、どのようにして逃げれば良いかを知ることができ、勉強になりました。」と話していました。

また、串本古座高校古座校舎の坪野賢一郎教頭は「参加者全員が安全に高台まで避難することができました。今後は、生徒に高齢者や小さな子どもを助ける共助の精神も養ってもらいたい。」と今後の課題について述べていました。



自動車が生かすに埋まっている状態で自衛隊員と消防隊員が協力し合い、土砂を撤去。自動車から負傷者を救出。

サンゴ台の総合運動公園駐車場には、近畿の各地域から数十台もの消防車両が集結しました。



いつか起こる災害に備えて

巨大地震が発生したと想定し、緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練、津波災害対応実践訓練、津波避難訓練が実施されました。

サンゴ台の総合運動公園で10月18日、緊急消防援助隊(阪神・淡路大震災を教訓に創設された大規模災害時に相互応援する部隊)の後方支援活動訓練が実施され、近畿2府7県から消防隊員が集結し、宿营地設置などが行われました。隊員たちは災害が発生したと想定し、素早くテントを設置。実際の災害現場と同様にテントで一晩を過ごしました。

翌19日には、和歌山県南部の沖合でマグニチュード8.7の地震が発生したとの想定をな、各地で様々な訓練が行われました。

緊急消防援助隊、自衛隊や海上保安庁らが動鳴気漁港、サンゴ台などで、救出・救助、傷病者搬送の訓練、潮岬望楼の芝では、自治

体の訓練としては全国で初めて、米軍のMV22オスプレイも参加するなど、大規模な訓練となりました。

動鳴気漁港では、大規模火災消火・救出、津波浸水家屋救出、水難救助訓練があり、火災が発生した家屋や津波で海に流された家屋などに取り残された人を救助する訓練に取り組みました。

倒壊家屋救出訓練が行われたサンゴ台では、地震で倒壊した家屋で動けなくなっている負傷者を救出したり、土砂に埋まった自動車に残された人を救助したりする訓練が行われました。

潮岬望楼の芝で行われた訓練では、オスプレイ2機が飛来。1号機には、災害派遣医療チーム



1



2

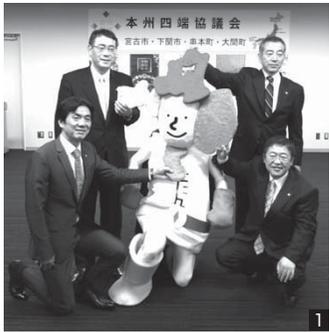
①野営用のテントを設置する消防隊員。
②地震で変形し、動かなくなった窓をエンジンカッターや斧を用いて切断し、建物に取り残された人を救出。



4

3

③津波で流された家屋に取り残されている人を救出するためボートを近づける。④救出された負傷者の手当をする隊員。



10月27日から28日にかけて、本州東西南北の端に位置する岩手県宮古市（東端）、山口県下関市（西端）、和歌山県串本町（南端）、青森県大間町（北端）の4首長が下関市に集まり、本州四端首長会議が開催されました。

今回で6回目となる交流会議では、平成16年10月から開始された「本州四端踏破ラリー」の達成者が1,471人（平成26年10月現在）となり、まもなく1,500人を越える見通しであることや、今年3月に決定した本州四端のマ



①「よんたん」と記念撮影する4市町の首長。②本州最西端の地「毘沙ノ鼻」を踏破。



堀部長から表彰状を受け取る田川さん。右下が受賞作品。

園児たちは、「青い空に絵をかこう」を歌って喜びの気持ちを伝えました。

表彰状を受け取った田川さんは「保育所の友だちとさいちゃんが旗を持って応援している絵を描きました。これからもさいちゃんの絵を描いていきます。」、東崎さんも「表彰状をもらって嬉しいです。」と笑顔を見せました。



同じく表彰状を受け取る東崎さん。右下が受賞作品。

本州最西端 下関市に4首長が集う

本州四端首長会議（四端サミット）が開催

スコットキャラクターである「よんたん」のお披露目と本州四端協議会PR隊長任命式が行われました。今後は、各種イベントにおいて本州四端協議会の活動を全国に広くアピールするために「よんたん」を有効的に活用していく予定になっています。

会議後には、本州最西端の地「毘沙ノ鼻」を訪れ、初踏破の田嶋町長に踏破証明書が渡されました。

大好きな「きいちゃん」の絵で入選

田川優衣さんと東崎魅さんに表彰状

紀の国わかやま国体の絵画コンクール保育所・幼稚園の部で入選した和深保育所の田川優衣さんと東崎魅さんに11月4日、同保育所にて表彰状が渡されました。

同コンクールの保育所・幼稚園の部には1266点という応募があったなか、田川さんが最優秀賞、東崎さんが佳作に選出されました。表彰式では、東牟婁振興局地域振興部の堀順一郎部長から田川さ

メルシン市との友好を再確認 そして、映画製作の協力を依頼

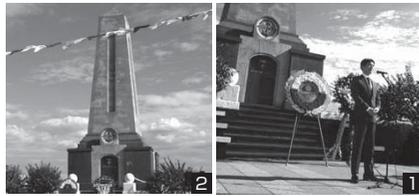
大メルシン市長、トルコ海軍大将を表敬訪問

9月28日から10月3日にかけて、田嶋町長、梅野議長らがトルコ共和国を訪問。今年3月に就任したブルハネティン・コジヤマズ大市長やビュレント・ボスタンオール海軍大将などを表敬訪問し、これまで以上の友好関係の構築と映画製作への協力を依頼しました。

29日にトルコのイスタンブールに到着した一行は、メルシン市に

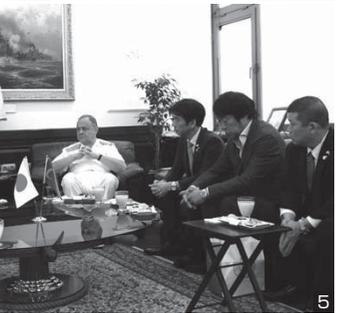
移動し、同市にあるエルトゥール号慰霊碑にて開催された献花式典に出席しました。式典では、黙祷、両国の国歌斉唱が行われた後、田嶋町長が市幹部の方々とともに慰霊碑へ献花を行い、スピーチの後、海に向かって花束を投げ入れ、エルトゥール号乗組員の御霊を弔いました。

その後、メルシン市役所に移動



①式典でスピーチする田嶋町長。②メルシン市にある慰霊碑。③コジヤマズ大市長に日本のお土産を手渡す田嶋町長。

④横井大使（右から2番目）に映画の進捗状況を報告。⑤ボスタンオール海軍大将を訪問し映画について協議する一行。



し、コジヤマズ大市長を表敬訪問。大市長から歓迎の言葉を頂き、お互いの贈り物を交換した後、田嶋町長とコジヤマズ大市長との間で今後の姉妹都市関係などについて意見交換が行われました。

翌30日、一行は、アンカラへ移動し、映画監督の田中光敏氏らと合流後、横井裕駐トルコ日本国大使を表敬訪問。映画製作に関してご協力頂いている横井大使に進捗状況を報告しました。横井大使からは「来年の日ト友好125周年は両国の友好関係において非常に重要な事業です。そこで映画の予告編を公開してはどうか。」との提案がありました。

10月1日、一行は横井大使とと

もにトルコ海軍司令部を訪れ、ボスタンオール海軍大将を表敬。映画の製作についてトルコ海軍の協力を依頼すると、海軍大将から「エルトゥール号の事件は両国の関係の中で大きな意味を持っています。トルコ海軍として最大限の協力をします。」と心強い言葉を頂きました。

今回、いずれの訪問地においても、町長と議長は大変な歓迎をもって迎えられる、映画製作に対するトルコの方々の強い気持ちが伝わってきました。

インフルエンザ ～ 予防と対応 ～

今年もインフルエンザが流行する時期をむかえました。インフルエンザは一旦流行が始まると、短期間に膨大な数の人を巻き込み、お子さんではまれに急性脳症を、ご高齢の方や免疫力の低下している方では重症化することがあります。

町民の皆さまには、感染予防を心がけるとともに、発症した場合にはできるだけ早く医療機関で治療を受けて下さるようお願いいたします。



インフルエンザの予防方法

- 外出後の手洗い、うがい
ウイルスを除去するために、石けんによる手洗いやうがいは非常に効果的です。
- 適度な湿度の保持
空気が乾燥すると、喉の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。室内は50～60%の湿度を保つのが効果的。
- 十分な休養と栄養
免疫力を高めるために、休養や栄養を十分としましょう。
- 人混みに出るときはマスクを着用
インフルエンザ流行時には、人混みに出るのを避け、やむを得ず出る場合には、マスクを着用しウイルスの侵入を防ぎましょう。
- 流行前のワクチン接種
くしもと町立病院でのワクチン接種は終了しています。接種希望の方は、かかりつけ医、あるいは最寄りの医療機関にお問い合わせください。



インフルエンザにかかったら

- 十分な水分を補給しましょう
お茶でも、ジュースでも飲みたいもので構いません。
- 安静にして休養をとりましょう
学校や仕事は休んでください。
- マスクをつけましょう
周りの人への感染を防ぐため、マスクは正しく着用しましょう。
- 早めに医療機関で治療を受けてください
症状が出てから日数が経ちすぎると、薬の効果も十分には期待できないことがあります。

☆インフルエンザが流行するこれからの時期、体の不調を「単なる風邪」と安易に判断せず、早めに医療機関にて相談・受診されることをおすすめします。尚、受診される際には、マスクを着用するなど、周囲に感染させないようにご配慮をお願いします。

エボラ出血熱

アフリカのギニア・リベリア・シエラレオネ・コンゴ民主共和国において感染拡大し、国内侵入が懸念されている「エボラ出血熱」について、同流行国から帰国した後、1ヶ月程度の間発熱症状がでた方は、地域の医療機関での受診を控えていただき、まず保健所に連絡のうえ指示に従ってください。

【新宮保健所串本支所 Tel.72-0525】

※当院では、厚生労働省の通知に基づき、発熱症状のある患者様に海外渡航歴等を確認させていただく場合があります。ご了承ください。

※エボラ出血熱は、インフルエンザのように容易に飛沫感染する可能性は非常に低く、体液に直接接触することにより感染するとされています。過度に不安を抱くことなく冷静な対応をお願いします。

手に汗握る白熱した試合を展開

秋季近畿地区高等学校軟式野球大会が開催

11月6日と7日に、平成26年度秋季近畿地区高等学校軟式野球大会の1回戦と2回戦がサン・ナンタランド野球場で行われました。本大会は、「紀の国わかやま国体」のリハーサルも兼ねており、来年の国体期間中、当町で行われる高等学校軟式野球競技に向けて、運営等の確認もされました。大会は、当町と新宮市の2会場



①緊迫した試合を行う高校球児。②するどいスイングを見せる選手。③塁まで全力疾走しヘッドスライディング。

にわけて行われ、近畿2府4県の代表10チームがトーナメント形式で試合を行いました。当町では、6日に1回戦1試合、7日に2回戦2試合が実施されました。各対戦で球児たちは、日頃の練習の成果を発揮し、熱戦を繰り広げました。一生懸命に闘志あふれるプレーをする選手たちに観客の応援にも熱が入りました。

殉難将士が安らかに眠れるように

大島小・中学校の生徒が慰霊碑を清掃

11月11日、大島小学校と中学校の生徒が樫野崎にあるエルトゥール号慰霊碑の清掃を行いました。生徒たちは、竹ぼうきなどを使い、慰霊碑の周りの草やゴミを回収しました。この清掃には、樫野地区の方々も参加され、清掃後には、全員で追悼歌を歌いエルトゥール号事件で亡くなった殉難将士の冥福を祈りました。



慰霊碑の清掃を行う生徒たち。

子どもから多くのことを教わる

タレントの辻イト子さんが人権講演会

11月13日、串本町文化センターにて、タレントの辻イト子さんを講師としてお招きし、人権講演会が開催されました。辻さんの長女には知的障がいがあり、それが発覚した当初は、周りから様々な事を言われ、悩み苦しんだとのこと。しかし、長女がいたことで自分も成長し、今の自分があることを話されました。



講演を行う辻イト子さん。

辻さんは「周りを気にせず一歩を踏み出せば、素晴らしい人生になります。」と来場者に語りました。

住民課からのお知らせ

後期高齢者医療制度に加入されている皆さまへ

11月下旬から12月上旬にかけ、ジェネリック医薬品を使用した場合、1か月の自己負担額が200円以上軽減される可能性がある方を対象に

ジェネリック医薬品使用促進のお知らせを送付しています。

患者負担の軽減や医療保険財政の改善のため、ジェネリック医薬品の使用をご検討ください。

- ※ ジェネリック医薬品への切り替えを強制するものではありません。
- ※ お薬によっては、ジェネリック医薬品への切り替えができない場合もあります。かかりつけの医師または薬剤師にご相談ください。

【お問い合わせ先】

後発医薬品利用差額通知コールセンター
フリーダイヤル 0120-53-0006（通話無料）

【発行元】

和歌山県後期高齢者医療広域連合 Tel.073-428-6688



企画課からのお知らせ

平成26年工業統計調査ご協力のお願い



政府統計

平成26年工業統計調査を実施します。
12～1月に調査員が伺いますので、
ご協力をお願いいたします。



工業統計キャラクター
コウちゃん

- 平成26年工業統計調査は、従業者4人以上の全ての製造事業所を対象に、平成26年12月31日時点で実施します。
- 工業統計調査は、我が国における工業の実態を明らかにするための政府の重要な調査で、統計法に基づく報告義務のある基幹統計調査です。
- 調査の結果は中小企業施策や地域振興など、国及び地域行政施策のための基礎資料として利活用されます。
- 調査票にご記入いただいた内容は、統計作成の目的以外（税の資料など）に使用することは絶対にありません。
- 調査の趣旨・必要性のご理解とご回答をよろしくお願いいたします。

— 経済産業省・和歌山県・串本町 —

福祉課からのお知らせ

児童扶養手当について大切なお知らせです！ 平成26年12月1日から 「児童扶養手当法」の一部が改正されます

これまで、公的年金*を受給していたことにより児童扶養手当を受給できなかった方で、平成26年12月1日において児童扶養手当の支給要件に該当している方は、年金額が児童扶養手当額より低い方に限り、その差額分の児童扶養手当を受給できるようになります。

◎児童扶養手当とは・・・

離婚等によるひとり親家庭などの生活安定・自立促進に寄与することにより、その家庭において養育されている子どもの福祉増進のために支給される手当です。



※公的年金とは・・・

遺族年金、障害年金、老齢年金、労災年金、遺族補償などです。

◇今回の改正により

新たに手当を受け取れる場合

- お子さんを養育している祖父母等が、低額の老齢年金を受給している場合
- 父子家庭で、お父さんが低額の遺族厚生年金のみを受給している場合
- 母子家庭で、離婚後に父が死亡し、お子さんが低額の遺族年金のみを受給している場合など

*受給している年金額が手当額よりも低いかどうかは、福祉課へご相談ください。

◇新たに手当を受給するための手続き

児童扶養手当を受給するためには、串本町役場福祉課での申請が必要です。

◇支給開始日

- 手当は申請の翌月から支給開始となります。
- ただし、これまで公的年金を受給していたことにより児童扶養手当を受給できなかった方のうち、平成26年12月1日に支給要件を満たしている方が、平成27年3月までに申請した場合は、平成26年12月分の手当から受給できます。
- 平成26年12月～平成27年3月分の手当は、平成27年4月に支払われます。



*申請の案内や書類の通知について

○福祉課では、今回の改正で新たに差額分の手当の支給対象になる方を把握していませんので、それぞれのご家庭に手続きのご案内をすることができません。お早めにお問い合わせいただき、忘れずに手続きを行ってください。

—お問い合わせ先—

串本町役場福祉課 Tel.0735-62-0562（直通）

【乳幼児関係】

乳幼児予防接種 ※会場は保健センター2階です

実施日	実施時間	内 容
12月 2日 (火)	13:10~13:40	ポリオ
12月 9日 (火)	13:10~13:40	MR1期
12月18日 (木)	13:00~13:30	BCG

乳幼児健診 ※会場は保健センター2階です

実施日	時間	内 容
12月 4日 (木)	13:00~13:30	2歳6ヶ月児健診
12月11日 (木)	13:00~13:30	3歳6ヶ月児健診
12月18日 (木)	13:00~13:30	6ヶ月児健診&BCG接種
	13:30~14:00	4ヶ月児健診

子育て支援室 りぼん No.19

今年度、和歌山県が主導で市町村等と連携し、親支援を行う先駆的な取り組みを実施することになりました。子ども虐待を未然に防ぎ、良好な親子関係を築くことを目的とした子育て支援プログラム「トリプルP」です。まずは、このプログラムについてのミニ講演会を開催します。

『前向き子育てプログラム』のお知らせ

「子育てってたいへん…」 「なんで言うこと聞かないの…」 など子育てをしていると様々な悩みに直面します。しかし、ちょっとした方法や技術を学ぶことで、子どもとの関わりをよい方向に変えることができます。

この講演会では、子どもの自尊心を育み、子育てを楽しく前向きにしていくために、必要なヒントをお伝えします。是非ご参加ください。

- ◇開催日時 12月16日(火) 10:00~
- ◇場所 串本町役場古座分庁舎3階大会議室
- ◇講師 家本 めぐみ(トリプルPジャパン理事)
- ◇対象 子どもさんをお持ちの全ての親、親を支援されている全ての方
- ◇参加料 無料
- ◇託時保育 先着15名まで(利用される方は必ずお電話で申し込んでください。)

★お問い合わせ、お申し込みは子育て支援室「りぼん」までお電話等でお願します。

12月の予定

内 容	日 時
子育て相談	2日、4日、9日、11日、16日、18日、25日 (9時~12時・13時~16時)
遊びのひろば	17日(水) (10時~12時・13時~15時) 場所: 旧西向保育所

お問い合わせ先: 649-4192 串本町西向359古座分庁舎内

子育て支援室「りぼん」 0735-67-7010 ご利用ください!



保健センター12月の行事予定は次のとおりです。

※健診等についてのお申し込み・お問い合わせは、保健センター(Tel.0735-62-6206)まで



【成人関係】

検診について

集団検診は11月で終了しました。

集団検診を申し込まれた方で、まだ受診できていない方は、個別検診へ変更することができますので、保健センターまでご連絡ください。

個別検診は、平成27年1月31日(土)まで受診できますが、受診券が必要です。

子宮がん検診・乳がん検診・大腸がん検診のクーポン券をお持ちの方も、1月31日(土)で終了します。お早めに受診してください。

(医療機関によってはすでに受付を終了しているところもあります)

※今年検診を申し込まれていない方も受診できますので、保健センターへお申し込みください。



健康相談

実施日	受付時間	場 所
12月8日(月)	13:00~14:30	保健センター2階

※どなたでもお気軽に会場へお越しください。(血圧測定や健康についての相談をお受けします。)



歯周疾患無料検診は、もう受診されましたか?

◇対象者 下記年齢の方

※部分入れ歯の方・歯科医院に通院中の方も利用可能です。

- ・40歳(昭和49年4月~昭和50年3月生)
- ・50歳(昭和39年4月~昭和40年3月生)
- ・60歳(昭和29年4月~昭和30年3月生)
- ・70歳(昭和19年4月~昭和20年3月生)

◇検診期間 12月27日(土)まで

◇受診方法

- ①和歌山県内の歯科医院にご予約ください。
- ②送付しました「歯周疾患検診無料受診券」を歯科医院にご提出ください。

皆さんも歯周病検診を受診しましょう!

串本町は、紀南地域の中で歯周疾患検診の受診率が良く、平成25年度は148人が受診され、多くの方が20本以上の歯を維持されていました。

無料で受診ができる方は、この機会にぜひ歯周病検診を受診し、いつまでも健康な歯を保ちましょう。



歯周病予防や治療は、自分でできる肺炎予防の一つです

誤嚥性肺炎の患者の肺からは、高い確率で歯周病が原因となる菌が発見されています!

つまり、歯周病の予防・治療を行うことは、肺炎を患う危険性を下げることにもつながります。

年齢別 現存している歯の本数
(平成25年度 串本町 検診結果より)

本数	年齢	40歳	50歳	60歳	70歳
28~32本		27人	19人	17人	12人
20~27本		5人	11人	19人	20人
10~19本				1人	13人
0~9本				1人	3人

12月の行事予定

日 曜	行事内容(時間)	場 所	主管課等
4 木	第66回人権週間 平成26年 12月4日～10日 特設人権相談 (13:30～15:30)	串本町文化センター 串本町役場古座分庁舎	住民課
7 日	町内一斉清掃 (各区指定の時間)	町内各地区	串本町 美化推進 協議会
11 木	行政相談 (13:30～15:30)	古座福祉センター	住民課
18 木	人権行政相談 (13:30～15:30)	古座漁村センター	住民課
27 30 土 火	消防団年末警戒 (21:00～2:00)	町内全般	消防団



町内の火災・救急件数

平成26年1月1日～10月31日まで

火災件数

建物 1件
林野 0件
その他 1件
合計 2件

救急件数

交通 93件
急病 676件
その他 285件
合計 1054件

火災のない住みよい豊かな町づくり

【広告】町収入の一部とするため有料広告を掲載しています。

今日の納税

▼納期限

12月25日(木)
○固定資産税(3期)
1月5日(月)

○国民健康保険税(9期)

○介護保険料(9期)

○後期高齢者医療保険料(6期)

※納期内に納付されない場合は、
地方税法に基づく延滞金がかかります。
納税はお早め。

◎納税に関するお問い合わせは役
場事務課へお願いします。

TEL 0735・62・0586 直通

12月4日(木)～10日(水)は

第66回人権週間

みんなで築こう 人権の世紀

～考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心～

12月10日(水)は「人権デー」です。
1948年のこの日「世界人権宣言」が国連
で採択され、今年で66年目を迎えました。

世界中の全ての人はみんな同じ人権を持つ、
かけがえのない存在です。

それぞれの個性や生き方の違いを大切にし
て、すべての人の人権が尊重される豊かな社
会をつくりましょう。



日曜・無料遺言 公証法律相談

▼休館期間
平成26年10月14日
～平成27年5月(予定)まで
※現在、オープン日は未定
▼お問い合わせ先
串本町役場産業課
TEL 0735・62・0557

新宮公証役場では次のとおり
「日曜・無料遺言公証法律相談」
を開設いたします。

▼日時

平成26年12月21日(日)
午前9時～午後5時
平成27年1月18日(日)
午前9時～午後5時

▼場所

新宮公証役場

▼相談員

公証人 中村 司

(和歌山地方方法務局所属)

▼相談内容

遺言・相続・任意後見(高齢者
等の財産管理)・離婚問題(子の
養育費・慰謝料・財産分与・年金
分割)・土地建物の賃貸借・金銭

の貸借・債務弁済・売買・贈与・
その他の大切な契約・尊厳死宣言・
会社定款など

▼予約
電話で予約してください。

▼その他

平日(月曜～金曜)の相談も、
ご利用ください。相談は無料。秘
密は厳守されます。

▼お問い合わせ先

新宮公証役場
(公証人 中村 司)
新宮市緑ヶ丘2丁目1番31号
(カマツカビル3階)
TEL 0735・21・2344

妊娠・育児 トラブル電話相談

和歌山労働局雇用均等室では、
妊娠・出産・育児に関する職場で
のトラブルの相談を受けします。

▼実施期間

平成26年12月17日(水)
～19日(金)
午前8時30分～午後7時

※この3日間は時間を延長して
ご相談をお受けします。

※通常の受付時間は、

蜜蜂を飼育 されている方へ

養蜂振興法により、原則全ての
蜜蜂を飼育している方は、毎年
1月末までに飼育届を県知事に提
出することが義務づけされていま
す。詳しくは県庁畜産課までお問
い合わせください。

▼お問い合わせ先
県庁畜産課
TEL 073・441・2923

和歌山労働局雇用均等室
TEL 073・488・1170

【広告】町収入の一部とするため有料広告を掲載しています。



笑顔はじける 第10回 串本町民大運動会

11月3日、サン・ナンタンランドにおいて串本町民大運動会が開催され、町内各地区から多くの方が参加し、笑顔であふれました。

参加者の皆さんお疲れ様でした。



【広告】町収入の一部とするため有料広告を掲載しています。